



宮城県立名取支援学校

学校だより

令和7年4月10日 Vol.1

小学部 104名

(うち名取が丘校30名)

中学部 64名 高等部 78名

計 246名



さわやかな挨拶あふれる学校に！

校長 大山 直樹

桜の花が美しく咲き誇る季節となりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度は、小学部25名（うち名取が丘校4名）、中学部23名、高等部22名の新生を新たに迎え、全校児童生徒246名（うち名取が丘校30名）で名取支援学校の令和7年度がスタートしました。

今年度、学校だよりの年頭の書き出しを「さわやかな挨拶あふれる学校に！」としました。ところでこの「挨拶」の語源は、禅宗の言葉で、問答を交わして相手の悟りの深淺を試すことを「一挨一拶（いちあい いっさつ）」と言い、その言葉に由来するそうです。「挨（あい）」には「押し開く」「心を開く」という意味があり、「拶（さつ）」には、「すり寄る」「心に近づく」という意味があるそうです。つまり、「自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく」という行為が込められています。そう言われてみると「おはようございます」「こんにちは」など言葉そのものは短いですが、その何気ない言葉を交わすことで相手との距離を縮め、また挨拶をする側もされる側も心を開いて近づくことで良好な人間関係のきっかけにもなります。

私たちは、令和7年度をスタートするに当たり、目指す学校像の一つとして「挨拶あふれる学校」を全教職員で確認しました。元気な言葉で表現する子。しっかり頭を下げて表現する子。精一杯手を高くあげて表現する子。満面の笑顔で表現する子。子供たちの実態は様々です。子供たちの得意な表現で、人の心を温かい気持ちにさせてくれる挨拶という行為が、爽やかにあふれる学校を目指していきます。

一年間、皆様の大切なお子様をお預かりいたします。お子様の明るく元気な笑顔がずっとずっと輝き続けますよう、教職員一同、一丸となって教育活動を推進してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【令和7年度 学校教育目標】

児童生徒一人一人の心身の発達、能力・特性に応じた教育を行い、その可能性の伸長に努め、健康で人間性豊かな人間の育成を目指す。

【魅力ある学校】

- < 児童生徒にとって わかる、できる、わくわくする学校 >
- < 保護者にとって 安全・安心で、信頼できる学校 >
- < 教職員にとって 同僚性・協働性があり、指導に力を注げる学校 >
- < 地域にとって 地域に開かれ、地域とともにある学校 >

【重点努力目標】

- (1) 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成と実施
- (2) 特別支援教育の専門性と指導力の向上
- (3) 保護者や地域・関係機関との協力・連携の強化
- (4) 安全・安心な学校づくり



校木「ナナカマド」
※本校舎、中庭にあります。